

平成27年度 学校評価シート

学校名: 和歌山県立串本古座高等学校串本校舎 学校長名: 愛須 貴志

目指す学校像 育てたい生徒像	豊かな心と確かな学力を身につけ、個性の伸長をはかることで、地域や社会の形成者として貢献できる人間を育成する。
-------------------	--

本年度の重点目標	1 基本的な生活習慣の確立と基礎学力向上
	2 キャリア教育を中核とした指導の充実
	3 自主活動の活性化
	4 特色ある教育活動の充実

達成度	A 十分に達成した (80%以上)
	B 概ね達成した (60%以上)
	C あまり十分でない (40%以上)
	D 不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善の方策の公表の方法
育友会総会等を通じて保護者に結果を知らせるとともに、本校HPにおいても公表する。

(注) 1 重点目標は3~4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自己評価		年度評価 (3月18日現在)		
番号	現状と課題	重点目標	評価項目	
1	大部分の生徒は真面目に高校生活を送っているものの、少数ではあるが生活規律に課題のある生徒が存在する。	身だしなみ、マナー 適切な言動がなされているか。 校則や社会規範を守ることがキャリア形成につながる意識が高まっているか。	・月1回の全校集会における身だしなみ指導及びマナー指導 ・毎朝の校門指導における遅刻指導及び身だしなみ指導 ・毎昼の校門指導における無断外出防止指導 ・情報モラル、薬物乱用、交通安全に係る講演会の実施 ・定期考査期間中の列車マナー指導 ・毎月2回の交通指導	・頭髪・身だしなみ指導にかかる生徒数の減少及び規範意識の醸成 ・遅刻生徒の減少 ・無断外出生徒の減少 ・情報モラル・薬物乱用 ・交通安全における理解の向上 ・乗車マナー等守れているか ・警察及び地域交通指導員との連携をはかれているか。
	授業態度は比較的落ち着いているが、生徒の学力差は大きく、特別な支援が必要な生徒も少なからず在籍する。進路志望も多岐にわたり、きめ細かな指導が必要である。	課題の多い生徒への個別指導、及び生徒の関心意欲を高める授業の工夫ができていないか。 家庭での学習時間確保等の具体的方策が講じられているか。	・学習環境の整備 ・チャイムと同時の始業 ・研究授業等の実施による教員の授業力の向上 ・生徒による授業評価を授業改善に生かす具体策の検討	・学習環境が整っているか ・授業開始に遅れはないか ・年1回の研究授業の実施と研究協議の実施 ・全教員が生徒による授業評価実施と現職教育
2	大学等進学についても一定の成果をあげ、就職率も7年連続してほぼ100%を達成している。しかし、個々の進路実現に向けた取組意欲は低く、自主的・創造的な行動や意図的・計画的な取組が少ない。	3年間を見通した系統的なカリキュラムおよび授業内容となっているか。 生徒の自己確立を促し、自らの将来を見据えることができる力をつけているか。	・生徒個々に応じた学力向上を図り、納得のいく進路実現をめざす ・総合学習を通じた進路意識の向上 ・各履修面談(個人・保護者・三者)によるキャリアカウンセリングの実施 ・社会体験や体験入学、オープンキャンパスなどの参加機会の設定	・年間を通して、学年・コース・進路希望に応じた補習やセミナーを実施した。また、進路ガイダンス、1学年のインターンシップ、2学年でのオープンキャンパス参加は、進路意識の向上に役立った。 ・民間就職については、就職指導員、ハローワーク等と連携し、概ね生徒が希望する企業に内定が得られた。公務員については、公務員セミナーへの参加により意識が向上し大幅に合格率が上がった。 ・進学では、AO入試や推薦入試で半数以上が決定したが、その後の一般入試やセンター試験では結果が伸び悩んでおり課題を残した。
	学校の様々な場面で真面目に取り組む生徒が多いものの、生徒自身が自分たちの手で学校を作りあげていくという意識をどのようにつなげていくかが課題である。	自ら課題を発見し、必要な情報を集め、その課題を解決するという経験をし、物事を考える自主的な能力を養えたか。	・生徒会活動の活性化のため地域や他の学校との交流に取り組む。 ・体育祭・文化祭において地域に向けて串本古座高校を発信する。 ・クラブ活動を促進し活性化に取組む。	・学校周辺の清掃活動 ・避難路の整備、維持管理 ・防災啓蒙活動の実施 ・学校行事における生徒評価の満足度70%以上 ・各クラブ活動の成績、部員数の増加につながったか
4	地域の自然、特徴を生かした総合学習を推進しているが、生徒全体の自主的、創造的な取組としてはまだまだ物足りない面がある。	生徒の課題意識を高め、個の活動から集団の活動へ繋がる指導ができたか。	・防災教育を通して生徒の「自助、共助、公助」の意識を高める ・育友会活動の活性化・世界遺産教育や地域学習等に取り組むことにより、自己確立を促す	・学期に1回の防災訓練や防災研修の実施 ・地域や近隣中学校と連携した防災訓練の実施 ・地域行事等における巡視協力の要請・総合的な学習の時間、修学旅行事前指導の活用
				○学校行事等の生徒評価の満足度は高かった。また、ボランティア活動にも参加し、放送部は緊急放送訓練に参加し地域との交流も行った。 ○学校行事はおおむね良好であった。また、クラブ活動では演劇部が全国大会への出場が決定している。

学校関係者評価
平成 28 年 1 月 21 日 実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
◎学校関係者に行った学校評価アンケートの評価結果について
特に高い評価(そう思う、どちらかというと思うの合計が80%以上)を得た項目は、「生徒が明るく生き生きと学校生活を送っている」、「生徒会活動や部活動に熱心に取り組んでいる」、「本校の学校行事等は活発に行われていると思いますか」の3項目であった。また、比較的高い項目(そう思う、どちらかというと思うの合計が70%以上)は、「基本的な生活習慣や規範意識を身に付けるため適切な指導が行われていると思いますか」、「生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われていると思いますか」の2項目であった。
次に、評価の低かった項目(どちらかというと思う合わない、そう思わないの合計が50%以上)は「他の学校にない特色があると思いますか」の1項目であった。比較的低かった項目(どちらかというと思う合わない、そう思わないの合計が40%以上)は「教育方針や教育指導目標の重点が分かりやすく示されていると思いますか」の1項目であった。
◎その他学校関係者からの意見・要望等
・次年度の新入生から1クラス減ということで、生徒の減少傾向は今後も続くと思いますが、生徒一人一人に合った、きめ細かい教育を希望します。それらを実現させるための先生方、当局の益々の協力を望みます。
・来年度1クラス減になることに関しては、非常に残念に思います。やはり、学習面や部活面においても、生徒たちの活気や競争力が下がってしまうのではと心配いたします。串本校舎ならではの特色を出していただき、入学希望者が、また増えるようよろしく願っています。
・学級減の折、早期に校舎の一本化を進めてはどうでしょうか。学級数維持の対策を早期に対応していくべきでは・・・串本ならではの選択もあると思います。(例えば、水産科等の設置)
・人数(生徒数)が減少していく中で、どう特色を出していくか、むずかしい問題であります。よろしく願います。